

平成29年度 福島区運営方針自己評価

(最新の取組状況報告を含む)

【目次】

- P2 運営方針とは
- P3 福島区運営方針の体系
- P4 平成29年度当初に設定した
経営課題の大きな方向
- P5～19 経営課題1～5
- P20～21 市政改革プラン2.0に基づく取組
- P22 自己評価の総括

運営方針とは

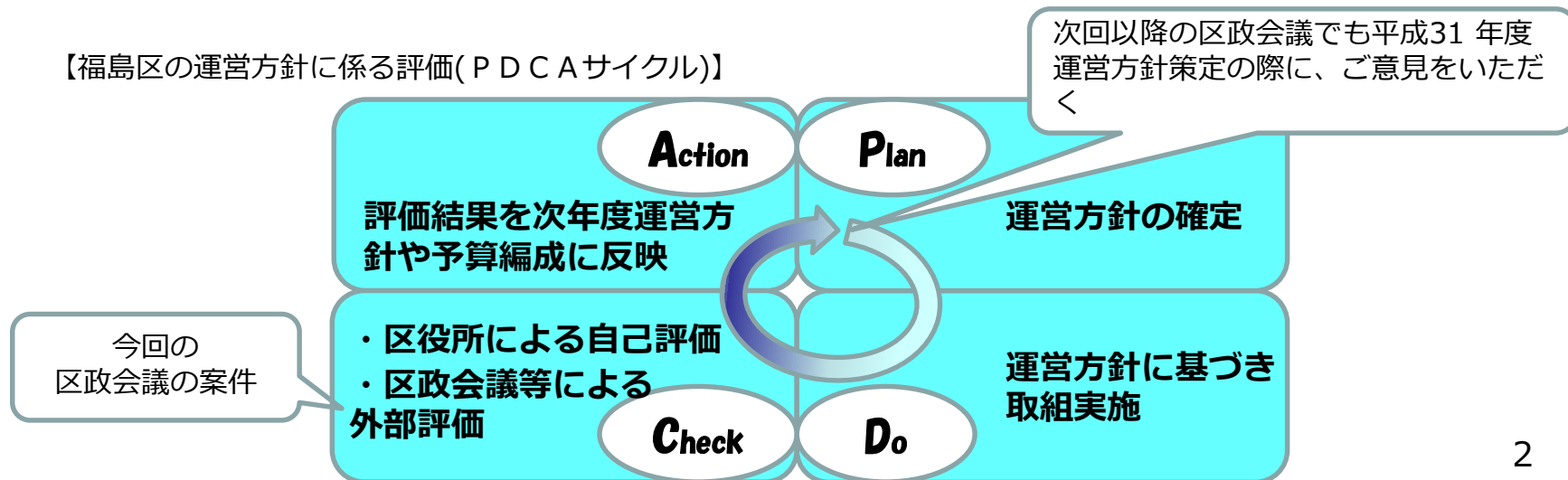
運営方針とは

大阪市の24区役所や局・室等各所属における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として毎年度策定しているもので、目標像・使命、主な経営課題とともに課題解決のための事業戦略（施策レベル）・具体的取組（事務事業レベル）を示しています。

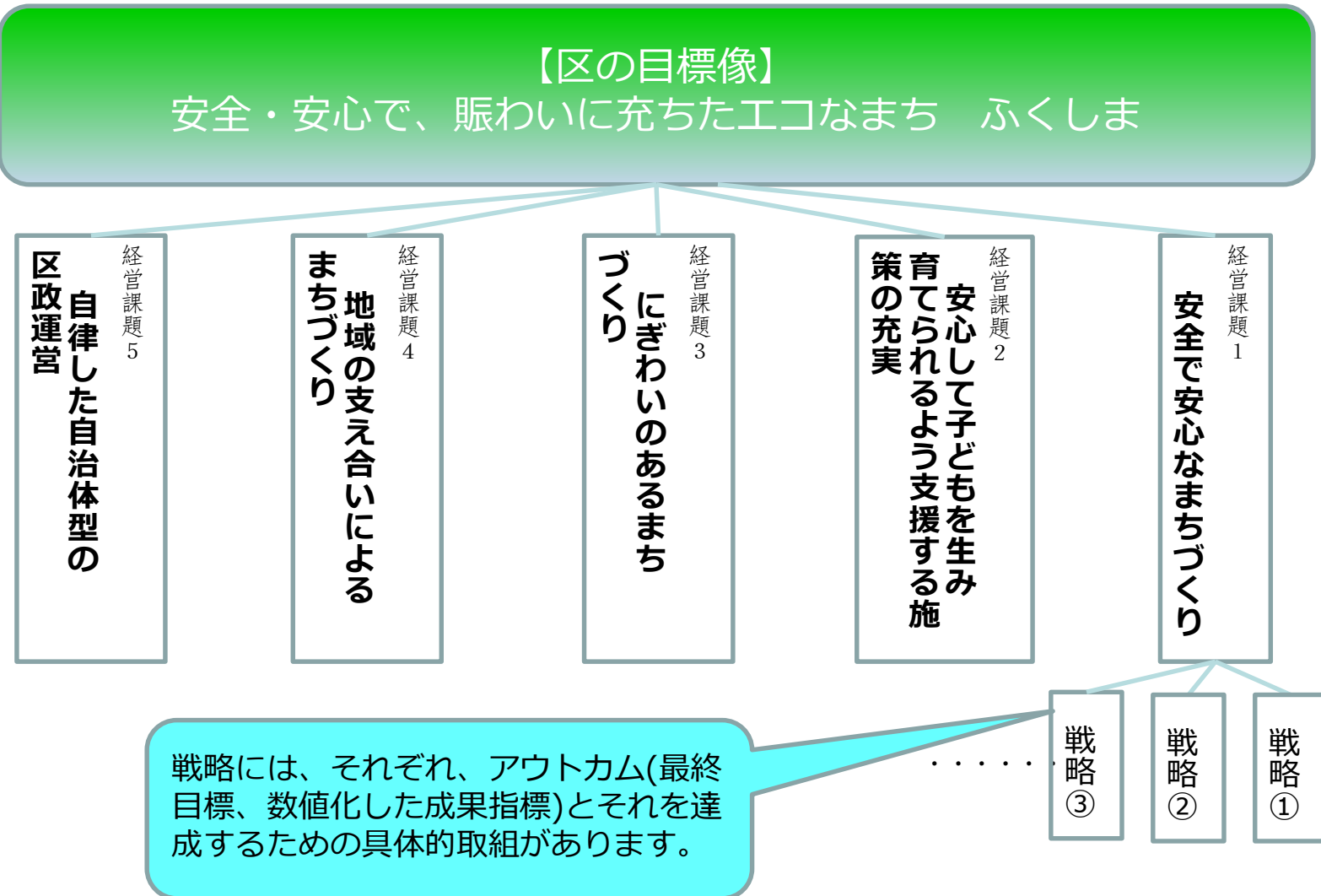
運営方針に係る評価

運営方針に掲載している戦略と具体的取組について、それぞれの目標の達成状況を点検するとともに、めざす成果に対する戦略の有効性を評価することを通じて、より実効性のあるPDCAサイクルを構築することをねらいとして実施しています。

【福島区の運営方針に係る評価(PDCAサイクル)】



平成29年度福島区運営方針の体系



平成29年度当初に設定した 経営課題の大きな方向

経営課題1 安全で安心なまちづくり

【防災】大規模災害に備えた新たな防災体制の確立をめざす。
【防犯】街頭犯罪件数が市内で最も少ない区をめざす。

経営課題2 安心して子どもを生み育てられるよう支援する施策の充実

子育て支援が充実し、全ての子育て世代が不安を抱えることなく、安心して楽しく子育てができる区をめざす。

経営課題3 にぎわいのあるまちづくり

活気とにぎわいがあふれるとともに、うるおいとみどりのある美しいまちを実現し、平成23年度を基準に10年間で来区者2倍増をめざす。



のだふじ巡りのようす

経営課題4 地域の支え合いによるまちづくり

地域が「自助」「共助」の機能を発揮し、さまざまな地域課題に対して自主的に課題等を解決できるようになることをめざす。

経営課題5 自立した自治体型の区政運営

- ・地域住民の意見・要望やニーズを適切に把握し、区の実情や特性に応じた区政運営。
- ・区役所が、窓口サービスなど様々な区役所サービスを的確迅速に提供し効率的に運営する機関として、区民の信頼・満足・納得を得る。

戦略1-1 地域力の強化による防災・減災対策の推進

【最終目標と29年度の結果】

目標	目標値※	H29結果
自分でできる災害時の備え（自助）について対策ができていると答える区民割合	70% (H30年度までに)	87.5% (共助による備えを含む)
区役所が、大規模災害など危機事象ごとの計画やマニュアルを作成し計画に基づき訓練を実施していることを知っている区民の割合	70%以上 (H29年度までに)	54.5%

※区民モニターアンケートによる

(区民モニターアンケート：福島区独自アンケート(約380人)、区民アンケート：24区一斉アンケート(約570人))

【平成29年度の主な取組内容】

- 大規模マンションにおける防災訓練等の検討
- 20～40歳の子育て世代をターゲットとした防災イベントの実施
⇒また開催してほしいと回答した割合95.8%



地域防災リーダー技術訓練のようす

【今後の対応】

- 地域防災力向上のために引き続き住民の自主的な防災活動の支援に取り組む。

経営課題1 安全で安心なまちづくり

戦略1-3 街頭犯罪の撲滅

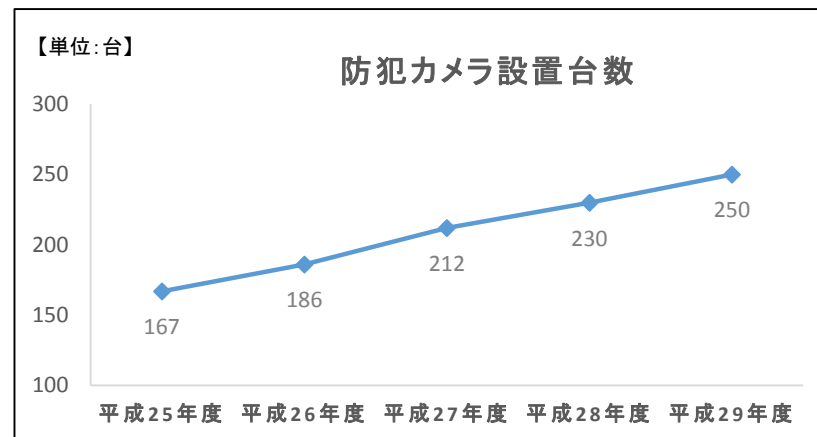
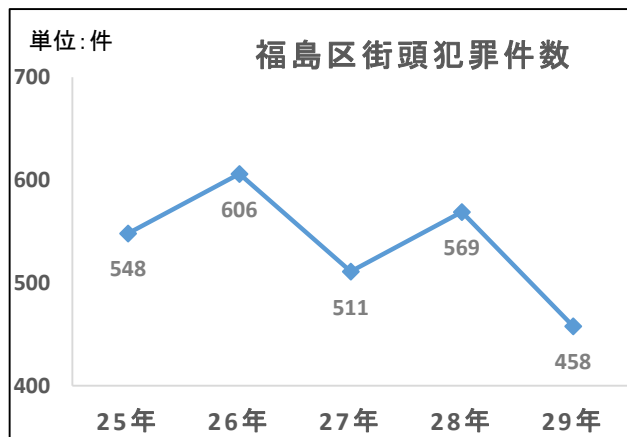
【最終目標と29年度の結果】

目標	目標値※	H29結果
アンケート等で啓発活動を実施することにより街頭犯罪の抑止につながると回答した割合	90% (H33年度までに)	72.0%

※区民モニターアンケートによる

【平成29年度の主な取組内容】

- 防犯カメラの設置：20台
- 街路防犯灯の設置：10箇所



【今後の対応】

今後も地域及び関係機関と連携し、防犯力向上に向け、防犯カメラ・街路防犯灯の設置を進める。

経営課題2 安心して子どもを生み育てられるよう支援する施策の充実

戦略2-2 教育環境の充実

【最終目標と29年度の結果】

目標内容	目標値	H29結果
区役所等から効果的な支援を得ていると回答する小中学校の数	10校以上 (H30年度までに)	12校

【平成29年度の主な取組内容】

- 特別支援教育・発達障がいボランティアを小学校に派遣
ボランティア数:35人、ボランティアの活動日数:1,695日
- 小中学校へのゲストティーチャー派遣事業
小学校6校、中学校3校に派遣
⇒「運動への興味・関心が高まった」と回答する割合：87.2%
- 放課後に小学校の運動場を開放するために見守り
ボランティアを派遣
ボランティア数:5人、活動日数：185日
- 区民センターでの中学生対象の課外学習事業(TERACO)
週2回実施(平成29年度は6月以降83回実施)
1日あたりの平均参加人数 約30人



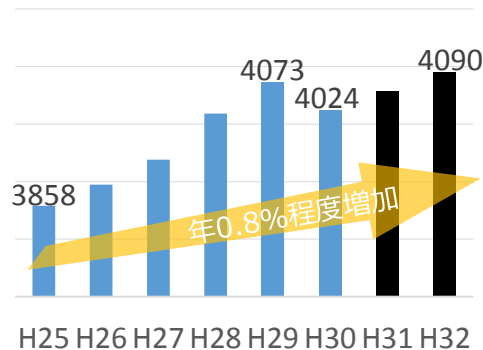
小学生に指導するNTTdocomo
レッドハリケーンズ(ラグビーチーム)のみなさん

経営課題 2 に関連する取組

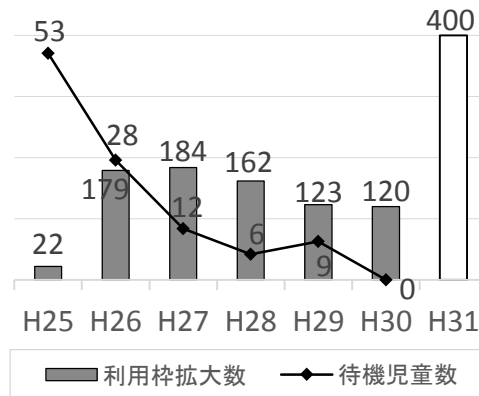
福島区における待機児童対策の状況

福島区の状況

- 区内就学前児童数の推移・予測
(0～5歳児合計、H31以降は推計値)



- 区内待機児童数と利用枠拡大数の推移



※H31の白抜き枠は増加予定分
(確定＋募集中)

- 大規模マンションの増加により、さらなる対策が必要

地域	名称	入居時期	戸数
鷺洲	リバーガーデン福島	H30年8月～H31年10月	850戸
海老江東	ジオ福島野田	H31年9月	566戸

待機児童対策の取組

- 福島区役所内に小規模保育所を開設
H30年4月「のだふじひばり保育園」開設
定員12人、入所12人（H30年5月時点）
- 市有地での保育事業者 2か所で募集中
定員80人以上、H31年4月開設予定
6月中旬事業者決定予定
 - もと吉野保育所用地（警察署跡地）
2,418.00㎡のうち、791.78㎡
 - もと野田営業所用地
1,459.40㎡のうち、580.29㎡
- さらに2か所 保育事業者を募集中
定員80人以上、H31年4月開設予定
- その他（市全体での取り組み）
 - 都市部における保育所等への賃借料支援
 - 新規開設保育所の余裕スペースを活用して
期間限定保育の実施 など

戦略3-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

【最終目標と29年度の結果】

目標	目標値	H29結果
ビジター数の増加	9万人以上 (H33年度までに)	主催事業の来場者数：70,426人 後援及び協力事業の来場者数：35,600人 合計106,026人

【平成29年度の主な取組内容】

- のだふじ鑑賞のメインスポットにふさわしい藤棚を下福島公園に設置した。
- のだふじ巡り(32,175人)
- ざこばの朝市(27,141人)
- ざこばの夜市×ノダヤオンフェス(6,000人)
- 野田阪神駅前野外ライブ(1,195人)
- ふくしま水辺フェス2018春(2,000人)
- ほたるまちジャズライブ(1,800人)
- その他(115人)

※()内は来場者数

⇒「またイベントに来たい」と回答した割合
93%



のだふじ巡り2018
(のだふじウォッチングスタンプラリーのようす)

経営課題3に関連する取組

【平成29年度】下福島公園藤棚整備

工事完了：平成30年3月29日

事業費：27,673,920円(財源は全額区民による寄附)

【のだふじ巡り2018 関連イベント】

・平成30年4月22日 『花見茶屋「ふじ庵」 & ふくしまパークライブ』

来場者：約3,600人



経営課題3に関連する取組

大阪万博誘致に関する取組

【大まかな流れ】

平成29年4月24日 2025年国際博覧会開催国への立候補を表明。

平成30年11月 博覧会国際事務局総会で投票により開催国を決定予定。

【取組内容】

- ・区内各所でのぼり、ポスター、パネルの掲出、動画の放映など。

- ・誘致のための署名活動状況(手書き)

全国	297,549人(5月10日時点)
うち大阪市24区	115,455人(5月10日時点)
うち福島区	7,376人(5月16日時点)

※全国の万博誘致賛同者数 約120万人

戦略4-1 豊かなコミュニティの実現

【最終目標と29年度の結果】

目標	目標値※	H29結果
身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合	30%以上 (H29年度までに)	46.0%

※区民アンケートによる

【平成29年度の主な取組内容】

- 地域福祉活動の中心的役割を担う地域福祉コーディネーターを10地域に配置
- 高齢者・障がい者の日常生活の軽微なニーズにこたえるための有償ボランティアとのマッチング事業(ふくしま暮らし支えあいシステム)
 - ・マッチング件数：1,043件 活動者登録数：76名
 - ・事業PRのためコンビニ等にポスターを掲示
- 地域住民が主体となって放置自転車の課題を解決するため地域と区役所が連携



ふくしま暮らし支えあいシステムを
コンビニで広報

【今後の対応】

- 担い手となるボランティアの拡大を引き続き長期的な視点で粘り強く取り組む。

経営課題4 地域の支え合いによるまちづくり

戦略4-3 地域資源の循環

【最終目標と29年度の結果】

目標	目標値	H29結果
平成29年度中に地域資源に関する情報が得られるホームページ等の立ち上げを増やす	1箇所以上	6箇所
地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	1件以上	3件

【平成29年度の主な取組内容】

- 地域活動協議会の予算・決算情報を区ホームページで公開
- 各地域のふれあい喫茶をはじめとした地域活動を紹介する冊子を地域の企業等に配架
- 地域活動の財源を獲得する事業として、環境局とともに各地域にコミュニティ回収の検討を支援した →平成30年2月から野田・吉野・新家の3地域が開始

【今後の対応】

- 地域活動が活発に自律的に運営され、地域課題の解決に向かえるよう、今後も各種事業を継続的に取り組む。

経営課題 4 に関連する取組

吉本興業株式会社と大阪市役所の包括連携協定を基にした地域活動における企業連携の実施

- ・ 福島区「住みます芸人」に月亭八織さんが決定
- ・ 高齢者食事サービスにおける演芸会：10地域で実施

【平成30年度】地域による子どもを育む取り組み

- ・ 地域による子どもの居場所づくり、及び地域の皆さまと子どもたちとの交流を進めるため、自習室などの設置検討を支援している。
- ・ 平成30年7～8月の夏休み期間中の実施に向けて検討を進めている。

戦略 5-1 区における住民主体の自治の実現

【最終目標と29年度の結果】

目標	目標値※	H29結果
①区政運営に区民の意見や要望が反映されていると感じている区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	24.0%
②区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合	30%以上 (H29年度までに)	45.8%
③区の様々な取組について企画・計画の段階において区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	25.8%
④区の様々な取組についてそれらの終了時に意見を聴くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	30.3%

※②のみ区民アンケート、それ以外は区民モニターアンケートによる

(区民モニターアンケート：福島区独自アンケート(約380人)、区民アンケート：24区一斉アンケート(約570人))

戦略 5-1 区における住民主体の自治の実現

【平成29年度の主な取組内容】

- 区民モニターの実施 4回(格付け調査含む)
- 区長に届けみんなの声、そして小さな声
⇒113件
- 広報紙、ホームページ、ツイッター、フェイスブックでの情報発信
- 区政会議の開催 4回(部会含む)
- 若い世代との懇談会の実施 2回



【今後の対応】

- SNSをはじめとする広報および区民モニターアンケートの充実を図ることで目標達成に努める。

若い世代との
懇談会のようす

戦略 5-3 区民が満足・納得できる区役所運営

【最終目標と29年度の結果】

※区民モニターアンケートによる

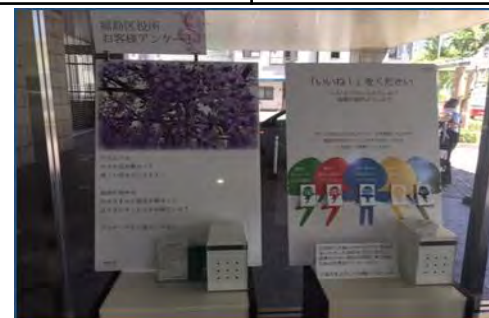
目標	目標値※	H29結果
区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合	80%以上 (H29年度までに)	78.6%
区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果において、☆☆(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)以上を獲得する。	☆☆	☆☆
効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	44.7%

【平成29年度の主な取組内容】

- 接遇研修を実施：1回（9/11、14）
- 来庁者アンケートを実施：通年

【今後の対応】

- 一定の効果が見られた取組もあるため、検証・改善を繰り返し、より効果的な取組や方策を検討する。



区役所庁舎内での
お客様アンケート

経営課題5に関連する取組

【平成29年度】窓口サービス向上にかかる各種取組

- ・ 1階ロビー及び2階窓口における「デジタルサイネージ」の設置
- ・ 区役所のホームページで窓口の順番待ちがわかるシステムを導入
- ・ 耳の不自由な方及び外国語通訳用タブレットの導入

【平成30年度】区政会議の運営方法の改善

- ・ 従来の区政会議に加えて、各委員がより意見を交換しやすい雰囲気の中で区政について話し合いができる場の設置

平成29年度において撤退基準を達成できなかった取組

【経営課題5-2-1】区における市政の総合窓口機能の充実

【目標】 区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民から、適切な機関や窓口を調べ、情報提供するなどの対応がされていない等の苦情件数：0件

→【平成29年度達成状況】 苦情件数 1件

【主な改善策】

- ・ 窓口における幅広い問い合わせに機敏に対応できるツールの検討
- ・ 少ないノウハウでもそれを補える方策の検討

【経営課題5-3-2】区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営

【目標】 効果的・効率的な区政運営が行われていると感じている区民の割合（区民モニターアンケート）：60%以上

→【平成29年度達成状況】 44.7%(目標の達成率90%未満)

【主な改善策】

- ・ これまでの取組で得られた効果は引き継ぎつつ、アピール力も含め区民の実感を得られるような新しい取組を検討する。

市政改革プラン2.0に基づく取組(1/2)

【29年度の取組結果】

取組項目(抜粋)	目標	目標値	H29結果
【取組項目2】歳入の確保(広告事業等)	平成27年度並みの収入の確保	5,872千円	6,445千円

・区が保有する資産を活用した広告事業及び局所管財産を活用した広告事業（ネーミングライツ）などにより、自主財源の確保を図った。

取組項目(抜粋)	目標	目標値※	H29結果
【取組項目8】活動の活性化に向けた支援（地域活動協議会の認知度向上に向けた支援）	地域活動協議会を知っている区民の割合	30%	16.9%

※区民アンケートによる

【今後の対応】

・地域活動協議会が地域住民に知られるよう支援する。広報ふくしま平成30年6月号から各地域活動協議会を順次紹介予定。

市政改革プラン2.0に基づく取組(2/2)

【29年度の取組結果】

取組項目(抜粋)	目標	目標値	H29結果
【取組項目9】活動の活性化に向けた支援（準行政的機能の趣旨についての理解度向上）	地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合	80%	48.6%
【取組項目10】活動の活性化に向けた支援（総意形成機能の充実）	地域活動協議会を知っている区民の割合(再掲)	30%	16.9%

【今後の対応】

※【取組項目9】は地域団体向けアンケート、【取組項目10】は区民アンケートによる

- ・ 様々な機会を活用して地域活動協議会に求められている「準行政的機能」及び「総意形成機能」の趣旨を周知する。

【準行政的機能】

行政では行き届かない地域課題への取り組みをしながら、まちづくりを進めていく。

【総意形成機能】

地域の将来像など住民の意見の調整・取りまとめをおこない発信する。

自己評価の総括

【1年間の取組成果と今後取り組みたいこと】

- ・平成29年度区役所業務格付けにおいては、来庁者サービスのランクが「☆（星1つ）」から「☆☆（星2つ）」になった。今後も一層のサービス向上に努めてまいりたい。
- ・「のだふじ巡り」や「ざこばの朝市」などで多くの来場者を呼びこみ、イベント来場者が目標を大幅に上回った。昨年度に設置した海の駅に続いて下福島公園においてのだふじのメインスポットとなる藤棚の整備も完了した。さらなるにぎわいと魅力のあるまちづくりをめざす。

【解決すべき課題と今後の改善方向】

- ・経営課題5について、区民のニーズや意見を的確に把握し、区政改善につなげ、それを区民に認識してもらうという点が達成できていない。
- ・区政会議の運営方法等を見直すとともに、区の取組について効果的な広報活動を実施することにより課題の改善に努める。